



社会福祉法人
アケボノ保育園
園長
角掛 美子 様

ご挨拶

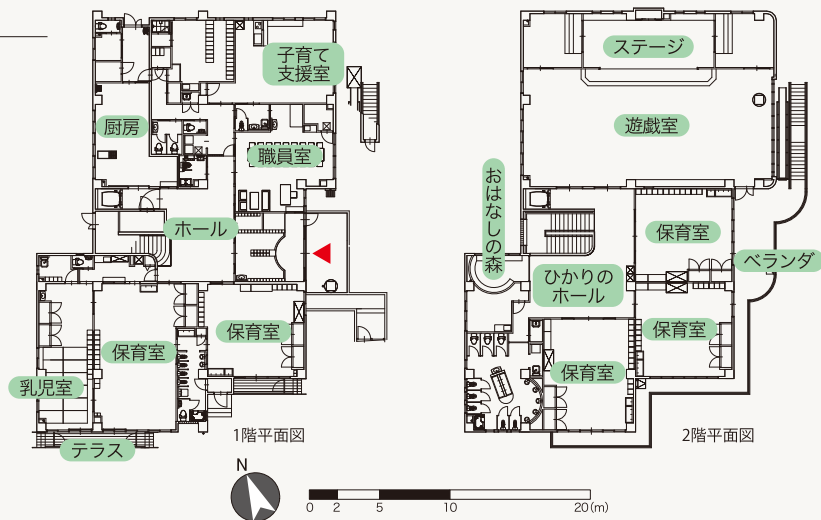
社会福祉法人アケボノ会では、平成19年度より施設環境整備事業の長中期計画を策定し、平成24年度安心子ども基金と福祉医療機構から借入を得て、平成25年4月から新園舎建設を開始、平成26年3月に工事完了致しました。RC構造ではありますが、木をふんだんに使い、子どもたちがのびのびと育つようにと以上児は2階に、未満児は1階に集約致しました。また、子どもたちが1年中遊べるホールを広く大きく作り、発表会などのステージが保護者と一体になるよう低く、広いステージにしました。今後は、待機児童の緩和や地域の子育て支援をはじめ、東日本大震災での教訓から、「地域のニーズに即した児童福祉」を目指します。岩手県第1号認可保育所の歴史を持つ当保育園は、「明るく、元気で、楽しく」を園目標とし、保護者の皆様や地域の皆様方と連携し、職員一同子育て支援に寄与して参ります。今後とも宜しくお願い申し上げます。



社会福祉法人 アケボノ会 アケボノ保育園

施 工 地 / 岩手県盛岡市愛宕町18番36号
竣工年月 / 平成26年3月
敷地面積 / 1,903.61m²
延床面積 / 1,000.20m²
構 造 / 鉄筋コンクリート造2階建

平面図



心地よい空間づくり

昭和5年に開所し岩手県から常設保育所として第一号認定を受けた社会福祉法人アケボノ保育園は、県内で最も古い84年の歴史をもつ保育園であります。竣工から45年が経過する既存園舎は、内部改修をおこないながら多くの子どもたちを育て見守り続けてきましたが、東日本大震災を経て傷みが増し安全性の確保は急務となっております。

平成26年3月に改築された新園舎は安全性の確保を第一に、諸室の木質化に努めて木のぬくもりを感じる落ち着きある空間とし、子どもたちがのびのびと過ごすゆとりある快適な保育環境を構築いたしました。



保育室



1階 ホール



おはなしの森

子どもと共に育つ園舎

外観は落ち着いたシンプルなデザインとしながら、明るく清潔感を与える白色を基本に要所にあけぼのを取り入れ、保育園舎にふさわしい元気で楽しく親しみを感じる色彩計画としました。

内部は園児たちの多様な生活を支える心地よい空間作りをおこないました。1階ホールは園児を迎え入れながら、保育園とご父兄を結ぶ情報交換の場に加え、ひな祭りや七夕などの季節行事を飾り付ける交流の場としました。また隣接する厨房には園児の身長に合わせた窓を設置、「見せる厨房」は食に対する興味を引出し心と体の成長を支えます。2階には本に親しみ楽しく過ごせる「おはなしの森」を配置しました。読み聞かせをする先生を円弧状のベンチに座る園児たちがかこみ、絵本の時間がはじまります。遊びの場の「ひかりのホール」はトップライトからの自然光が降りそそぐ柔らかな明るい空間とし、力強い朝日が差し込む遊戯室と共に溢れる陽の光で子どもたちを優しく包み込みます。



2階 ひかりのホール



遊戯室